

第3回庄内地区防災訓練を実施しました

11月21日（日）「南海トラフ～日向灘沖を震源とする『震度6弱』の地震」を想定した防災訓練を実施しました。令和元年の都城市総合防災訓練が庄内地区で開催されたことをきっかけに、継続して実施しているもので、今年で3回目になります。

午前7時30分、地区内自治公民館10館（1,944世帯、5,260人）がそれぞれ計画通り、安否確認・避難訓練などに取り組みました。庄内地区公民館には庄内地区災害対策本部を開設し、各自治公民館から連絡員を配置、情報収集にあたりました。また庄内地区社会福祉協議会は災害ボランティアセンターの開設訓練を行いました。大規模災害の発生時には、ボランティアセンターも各地区に開設する必要があるためです。

また避難行動要支援者（庄内地区84名）の安否確認は各自治公民館長と民生児童委員が協力して行い、全員の確認ができました。

都城市消防団庄内分団（8部）では前日の夜や当日朝防災訓練の告知を行いました。また避難行動要支援者の安否確認などにも協力しました。

本部では前都城市消防団長の山元寿一さんに講話をお願いし、コロナと避難対策のテーマでお話をいただきました。分散避難の考え方では①自宅避難②親戚・知人宅への避難③車中避難なども考えておくなどのお話がありました。その後出席者から来年度の訓練に向けて提案などたくさんの貴重な意見を頂きました。

各自治公民館からの状況報告は9時30分までにすべて終わりました。



庄内地区災害対策本部

庄内地区個別避難計画作成推進会議を開催しました

まち協では平成元年庄内地区で開催された都城市総合防災訓練をきっかけに、避難行動要支援者の個別避難計画作成に取り組んでいます。計画作成を進めるうえでいろいろな課題も出てきていることから、関係者が集まり意見交換する会議を12月8日（水）開催しました。

徳留会長のあいさつのあと、11月21日実施した第3回庄内地区防災訓練の各自治公民館毎の館員安否確認の結果と、避難行動要支援者安否確認結果の報告がありました。庄内地区では避難行動要支援者は年度当初93名でしたが、民生・児童委員さんの状況確認の結果、施設入所者や亡くなった方があり、安否確認対象者は84名（うち自治公民館加入者66名、館員外18名）でした。すべての方の安否確認ができました。

次に、個別避難計画作成について課題や疑問点などのアンケートを民生・児童委員さんに行っていましたので、福祉課および危機管理課よりコメントを頂きました。避難行動要支援者名簿登録制度を市民に周知することや、民生・児童委員さんが避難行動要支援者を訪問して、個別避難計画作成申出書兼同意書を作成しますがより記入しやすく改良するなどの説明がありました。

また危機管理課からはまず「自助」として自然災害からの避難の心構えや、「共助」に必要な電話連絡網の作成や災害時集合場所の選定、民生・児童委員だけではなく自主防災隊の活用などの話がありました。また避難行動要支援者が住んでいる場所が洪水土砂災害の危険がないか防災マップで確認しておくことが大事などの話もありました。

意見交換では自治公民館長さんや民生委員・児童委員さんから多くの貴重な意見が出され、行政側とも課題の共有ができましたので、今後の避難行動要支援者名簿登録制度の運用や防災訓練に活かしていきたいと考えます。（参加者32名、都城市福祉課、危機管理課、庄内地区市民センター、志和池・庄内・西岳包括支援センター、庄内地区自公連、庄内地区民児協、庄内地区まち協）

庄内地区まちづくり協議会事務局

〒885-0114 都城市庄内町12692-2 庄内地区公民館内

TEL:0986-37-3488 FAX:0986-37-2728

ホームページ <https://www.bonchi.jp/shonai/>

みんなでつくる 住みよいまち 庄内

庄内地区まちづくり協議会だより



令和4年1月発行 VOL.24

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。コロナ禍のお正月が二回目となる中、どのような新年をお迎えになられたでしょうか。

私は昨年4月30日書面表決による庄内地区まちづくり協議会定期総会において、釘村美千也会長の後任として会長に選出されました。釘村前会長は平成18年の庄内地区市民自治検討会議の立ち上げから検討を重ねられ、平成22年6月の庄内地区まちづくり協議会の設立を主導されました。まちづくり協議会の会長を11年にわたって務められましたが、その間組織運営の充実を図り、街区公園管理業務の受託などによる財務基盤強化や、コミュニティバス庄内ふれあい号の運行、都城市地域活性化事業による地域課題解決の取り組み、防災訓練実施や防災用資材の整備、倉庫の建設など多くの功績を残されました。今後も顧問としていろいろアドバイスして頂けると幸いです。

私も釘村前会長の口癖であった「庄内が一番！」の精神を受け継いで、「みんなでつくる 住みよいまち 庄内」の実現を目指して頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

さて、昨年の8月20日には1日の新型コロナ感染者数が25,992人とピークを迎えて、入院できず自宅待機中に亡くなる事例が多発して、日常生活も多くの影響を受けました。

まちづくり協議会では住民参加の三大イベント（第22回庄内地区スポ・レク大会、第36回庄内ふるさと祭り、第27回庄内川一周YOU遊駅伝大会）については、残念ながら昨年に引き続きそれぞれの実行委員会でも中止を決定しました。

そのような中、第3回庄内地区防災訓練は11月21日（日）実施出来ました。昨年参加できなかった消防団も参加し、地区内自治公民館10館（1,944世帯、5,260名）がそれぞれ計画通り、安否確認・避難訓練などに取り組みました。また避難行動要支援者84名の安否確認も行いました。

現在日本での新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているように見えます。しかし海外でのオミクロン株の感染が拡大しており心配な状況です。第6波が来ないよう「新しい生活様式」の実践でコロナに打ち勝ち、日常生活を取り戻せるよう頑張っていきましょう。

令和4年元旦

庄内地区まちづくり協議会 会長 徳留 次男

令和3年新年度意見交換会を開催しました

新年度意見交換会は昨年度実施できませんでしたが、今年は6月15日（火）に実施しました。小中学校の校長・教頭先生は異動があり、各自治公民館長や民生委員・児童委員も交代がありますので、毎年年度初めに顔合わせを兼ねて行っているものです。今年度は新型コロナ感染症拡大のため人数を絞って開催しました。参加者は次の通りです。

地元市議会議員、庄内地区市民センター、庄内中学校、庄内小学校、乙房小学校、菓子野小学校、庄内地区自治公民館連絡協議会、庄内地区民生委員児童委員協議会、庄内地区まちづくり協議会



初めに各団体ごとに自己紹介を行いました。その後の意見交換は各小学校区（庄内小、乙房小、菓子野小）に分かれて行いました。それぞれ校長先生のリードで活発な意見交換ができました。昨年からの今年の卒業式、入学式、運動会などすべて来賓参加自粛でしたので校長先生・教頭先生と初めて顔を合わせる方も多く、話が盛り上がっていました。（参加者38名）

菓子野小学校4年生の校外学習を実施しました

6月21日(月)教育文化活動部会(花原恵子部会長)が主催して菓子野小学校4年生(17名)の校外学習を実施しました。8時20分ごろマイクロバスで学校を出発し、まず明治11年から明治34年まで菓子野分教場で教鞭を執られた三原叢五(そうご)先生のお墓を訪問しました。

三原先生は三島通庸が創立した学校の初代の校長として、明治3年に鹿児島島から招かれました。明治5年には学制が発布され、庄内小学校の初代校長となりました。ところが明治10年西南戦争が勃発し、先生は西郷軍に従軍されます。戦争が終わりしばらくしてひょっこり庄内に帰って来られましたが、すでに庄内小学校には新しい校長が赴任していました。村議会では菓子野に分教場を作りそこで教鞭をとってもらうことにしました。分教場は現在の菓子野公民館のところだったそうです。先生は68歳で亡くなりました。亡くなられた日は明治34年6月18日で今年はちょうど120年目になります。



その後庄内地区公民館に移動し関之尾むかえびとの会の佐々原さんにより関之尾を水源とする3本の用水路(南前用水路、北前用水路、前田用水路)の説明や、坂元源兵衛の紙芝居「坂元源兵衛物語」を見てもらいました。

次は山田町の都城市クリーンセンターに移動し約1時間30分説明と見学を行いました。センターの職員の方が詳しく説明してくださり、児童たちもゴミ処理について習ったばかりでたくさんの質問をしていました。写真は庄内地区公民館多目的ホールで紙芝居を見ているところです。

乙房小学校4年生の校外学習を支援しました

6月29日(火)に教育文化活動部会が主催して、乙房小学校4年生(30名)の校外学習を実施しました。8時20分にマイクロバス2台で学校を出発、庄内地区公民館に移動し、菓子野小と同じく「関之尾むかえびとの会」の佐々原さんが、関之尾滝を水源とする用水路の説明をし、坂元源兵衛の紙芝居「坂元源兵衛物語」を見せました。

また、庄内地区公民館の部屋や庄内地区市民センターの見学をおこない、9時30分過ぎ公民館を出発、山田町の都城市クリーンセンターに移動し約1時間30分説明と見学を行いました。センターの職員の方がビデオを使って詳しく説明してくださいました。館内の設備も見学しました。クレーン作業の見学(写真)では児童たちは大興奮で飽くことなく見ていました。



災害対策用発電機の試運転をしました

台風シーズンが近づいてきましたので、7月28日(水)に令和2年度庄内地区地域活性化事業(防災対策環境整備事業)で整備した5台の発電機の試運転をしました。2.5kVAの出力があり、災害時の停電に備えてLEDのスタンドライトや屋外用バルーンライトも揃えています。防災対策環境整備事業では他にもりやカーや炊き出し用大鍋、担架、ブルーシートなどを整備しました。

試運転はまちづくり協議会と庄内地区市民センターの職員にも加わっていただきました。



庄内川堤防の草刈りを行いました(環境整備部会)

10月2日(日)に庄内川の堤防草刈りを実施しました。第22回庄内地区スポ・レク大会は中止になりましたが、堤防を散歩する人が多く、中学生の通学路にもなっていますので、環境整備部会、まち協代議員、公民館長、副館長などに呼びかけ、約35名の参加がありました。6時30分から庄内橋、上平田橋、平田橋、引土橋、鶴島橋の5ヶ所に別れ作業をしました。

毎年、宮崎県河川パートナーシップ事業により、庄内川の両岸をまち協、西区・川崎壮年会、農家の方などで手分けして機械で刈っています。橋の付近や水門付近などは機械で刈りにくいので、手作業で実施しています。8時ごろすべての作業が終了しました。



庄内中学校1年生の地域巡見学習を行いました

庄内中学校1年生(78名)を対象にした地域巡見学習を11月19日(金)午後に開催しました。教育文化活動部会(花原恵子部会長)が主催し、今年で11年目になります。自分たちの住む庄内には、たくさんの歴史と文化があることに気づき、郷土に愛着と誇りを持ってくれることを期待して実施しているものです。

昨年まではバス3台でしたが、今年は生徒数が多くバス4台に分乗し地区内の史跡を回りました。ガイドには都城島津邸の山下館長(庄内中出身)、「庄内の昔を語る会」(七牟礼さん、朝倉さん)と関之尾むかえびとの会(花原さん、佐々原さん)をお願いしました。

見学は平田かくれ念仏洞、乙房神社(田のかんさあ)、宮島中央権現、諏訪神社、山久院跡、三島通庸遺徳の碑、安永城跡、願心寺です。駐車場が狭いのでバス4台ごとに順路を変え安永城跡で合流しました。願心寺では本堂で紹介ビデオを見せて頂き、大河内住職からは平成5~6年に大修復をしたこと、修復とは元の状態に戻すという意味で、大変な技術や労力がかかったことなどのお話がありました。技術者の中には都城高専や都城工業高校の出身者もいたそうです。

生徒たちはとても元気が良く、ガイドやバスの運転手さんへの挨拶がしっかりできていました。今日の学習で学んだことを12月3日の授業でプレゼンテーションしました。



山久院跡

生徒のお礼の手紙より(大村君)

今日はありがとうございました。自分はこの地域巡見で、この町庄内の良い所や素晴らしい所などを発見できました。そして郷土愛が生まれました。個人的にいいなと思ったのは願心寺です。願心寺の本堂はとても魅力がありました。

あと、かくれ念仏洞跡です。少し地味な所はありましたが、その地味さと人けのない所にあるというこの二つから、とても歴史の流れと信者の方々の危機感が感じとられました。

今日学んだことは新しい発見の一歩となりました。これからもこの素晴らしい庄内の歴史を作っていきましょう。今日は本当にありがとうございました。



願心寺本堂



安永城跡